

## 令和6年第3回定例会一般質問

日 時 9月5日（木曜）、6日（金曜）、9日（月曜）、10日（火曜）  
いずれも午前10時から  
※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書（一般質問）のとおり

発言順	議員名	質問日（予定）
1	吹春 やすたか	令和6年9月5日（木曜）
2	村 山 ひでき	
3	鈴 木 成 夫	
4	五十嵐 京 子	
5	岸 田 正 義	
6	沖 浦 あ つ し	
7	清 水 が く	令和6年9月6日（金曜）
8	小 林 正 樹	
9	遠 藤 百 合 子	
10	渡 辺 ふ き 子	
11	高 木 章 成	
12	坂 井 え つ 子	令和6年9月9日（月曜）
13	水 上 洋 志	
14	渡 辺 大 三	
15	古 畑 俊 男	
16	斎 藤 康 夫	
17	た ゆ 久 貴	
18	水 谷 た か こ	令和6年9月10日（火曜）
19	片 山 か お る	
20	河 野 麻 美	
21	安 田 け い こ	
22	森 戸 よ う 子	



令和6年 8月 26日  
(西暦2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

村山ひでき

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1. 地域活性化策としてデジタル地域通貨を考えよう</b></p> <p>(1) 将来にわたって持続可能な小金井市を創るためには</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①地域経済の活性化の観点</li><li>②地域コミュニティの活性化の観点</li></ul> <p>(2) 導入メリットについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①利用者と加盟店それぞれのメリット</li><li>②行政ポイントをはじめ各種ポイント付与に活用</li><li>③さくらポイント事業が抱える課題の解消</li></ul> <p>(3) 小金井で可能なことは何か</p> <p><b>2. 来年は新しい市民まつりを開催できるのか</b></p> <p>(1) これまで市が行ってきたことの確認</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①今年1月の中止決定からキックオフミーティングまで</li><li>②第1回会議と今後のスケジュール</li><li>③現時点まで積み上げた方向性や成果は<ul style="list-style-type: none"><li>・「10月が一定の区切り」=10月の予算要求は間に合うのか</li></ul></li></ul> <p>(2) 市が認識している課題と解決のために</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①市が目指す「新しいまつり」のイメージと課題<ul style="list-style-type: none"><li>・本年度中止の影響を受けた団体のその後は</li></ul></li><li>②理想像に近づけるためには何が必要か</li></ul>	



# 一般質問の通告について

発言順

4

令和6年8月26日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

五十嵐 京子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. <u>公民館の課題と今後の方向性について</u> 令和3年3月の「小金井市公民館中長期計画」によると、「解決すべき地域課題について学習し、公民館等においてその推進を図る」とある。 ア <u>具体的な計画策定の進捗状況、現状について問う。</u> イ <u>緑センターが委託となり5か月、事業内容の変化などについて。</u> ウ <u>公民館の有料化の議論の進捗状況は。</u></p> <p>2. <u>市民まつりの来年度開催に向けての検討状況は。</u> ア <u>話し合いの進捗状況。</u> イ <u>来年度開催の見通しは。</u></p>	



# 一般質問の通告について

発言順

6

令和 6 年 8 月 26 日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議員 様

小金井市議会議員

沖浦 あつし

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>第5次小金井市基本構想・前期基本計画 施策15 学校教育の充実</p> <p><b>①小・中学生のディスレクシア支援を</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 奉仕団体が行ったチャリティー事業に伴うディスレクシア支援の内容と教職員ニーズ・小金井市社会福祉協議会が開催したディスレクシアに関する講座への参加状況</li><li>■ 来年度以降の教職員向け研修について</li><li>■ 市内小中学生を対象とする読み書きの困り事への集団アセスメント(希望制)の開催について</li></ul> <p>第5次小金井市基本構想・前期基本計画 施策23 高齢者の生きがいの充実</p> <p><b>②高齢者の生きがいづくり支援を（既存事業の更なる充実）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ シニア元気フェスタ（敬老会）の開催状況と今後について</li><li>■ 高齢者記念品支給事業の基準日を、国・都と同じにしないか</li><li>■ シニア健康運動教室の成果や今後の展開について</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

7

令和 6年 8月 26日  
(西暦 2024年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

清水かじく

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>1. <u>AED（自動体外式除細動器）の24時間化の検討について</u></b></p> <p>突然倒れて心肺停止になった場合の人が助かる可能性、いわゆる救命率について、心肺蘇生が1分遅れるごとに救命率が約10%ずつ下がり、10分以上除細動が行われないと、生存が難しいとされている。いかに早い段階でAEDによる除細動が行えるかが重要である。1分でも早くAEDを実施することで、命を救える可能性が高くなる。AEDの24時間化（外付け化）については、今年度の第1回定例会、予算特別委員会でも同様の質疑も行った。市民の生命、財産を守る観点からいえば、早急に検討し結果を出すべきであり、その後の検討（研究）状況も併せて確認する。</p> <p>(1) AEDの重要性への市の見解について、また、市の取組みについて</p> <p>(2) 市内公共施設のAEDの24時間化（外付け化）の早期の検討について</p> <p>(3) 24時間営業の市内コンビニエンスストア等との協議について</p>	
<p><b>2. <u>優先整備路線の検証について</u></b></p> <p>小金井市が、優先整備路線2路線（3・4・1号線、3・4・11号線）について東京都へ、中止、見直しの要望書を提出するために本検証を行うこととなった。しかしながら、優先整備2路線事業化について、東京都への中止、見直しの要望書をだすという「市長の政策意思は変わらない」と市長は強く答弁しつつも、現時点に至っても、どのような検証を行うのか、スケジュール、アンケート内容、市民へのアンケートの取り方、アンケート結果をどのように検証するのかさえ、具体的な説明が議会には示されていない。この状況下において、市が示す、優先整備路線の検証を進める事ができるのか、大いに疑問であるが、その後の状況と見解を伺う。</p> <p>(1) R6.8.20開催の建設環境委員会での意見、令和6年度第1回小金井市都市計画審議会での意見を踏まえた検討状況について、また意見の反映について</p> <p>(2) 今後の検証の進め方について</p>	以上



# 一般質問の通告について

発言順

8

令和 6年8月26日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

小林 正樹

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. シティプロモーションについて</p> <p>選ばれるまち小金井市として必要なことは何か？ 目的を明確にして具体的な取り組みを全庁で意識を合わせ取り組む必要がある。</p> <p>ア) 小金井市のシティプロモーションの目的と課題・取組みについて イ) 公式LINE、市報こがねいのリニューアルの評価と更なるSNSの取組みは ウ) 小金井市観光まちおこし協会の事務所移転を検討しないか エ) 市のPRを兼ねた今後のガバメント・クラウドファンディングの取組みは</p> <p>2. 更なる防災・減災対策について</p> <p>今年、震度5を超える地震は既に26回発生している（8月25日現在）。引き続き、適切な準備を進める必要があります。</p> <p>ア) 続！トイレ問題 「集合住宅（マンション）」の状況把握と対策周知 イ) 避難所の段ボールベッドについて ウ) 学校をはじめとする樹木の点検をし、樹木の更新を計画的に行わないか エ) 暴風災害による農地の被害や保証について</p> <p>3. 「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」について</p> <p>国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会が、明年（2025年）11月15日より開催をされる。 小金井市からも気運醸成をはかり大会成功に向けて努めるべきである。</p> <p>ア) 各自治体での取り組みについて イ) レスリング競技会場となる府中市では「実施方針」を策定して、「気運醸成」「開催支援」「理解促進」の3つの取り組みを行っているが、小金井市としての「取組方針」は ウ) 関係団体と連携をとりながら、市としての具体的な取り組みを求める</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

9

令和6年8月28日  
(西暦2024)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

遠藤百合子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1, <u>大地震発生！その時どうする？</u> <u>毎年恒例の市の防災訓練、今年は9月1日に市立南中学校で開催され参加された方も多かったのではないのでしょうか。</u> <u>首都直下地震は2022年5月の被害想定報告書によると、多摩東部で30年以内の発生確率はマグニチュード7, 3、震度6弱で70%の確率で発生するといわれています。</u> <u>(1)自治会における防災会の現状と課題</u> <u>(2)避難所の運営をどうするか</u> <u>(3)避難所運営協議会の現状と今後の方向性は</u> <u>(4)防災会の組織していない地域への配慮をどうしているのか</u></p> <p>2, <u>自販機における販売をペットボトル処理量の削減に向けてリサイクル処理費の高いペットボトルから缶にかえていかないか</u> <u>缶とペットボトルの処理費について市の考え方を問う</u></p> <p>3, <u>小中学校のプール授業の今後の方向性について</u> <u>(1)各学校のプール授業の現状は</u> <u>(2)モデル授業の報告をどう活かしていくのか</u> <u>(3)来年度以降の考え方は</u></p>	

# 一般質問の通告について

発言順

10

令和 6年 8月 28日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

渡辺 ふき子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1, 新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設を地域振興の起爆剤に いよいよ実施設計が終了し施工者選考の準備に入る</p> <p>(1) サウンディング調査実施の目的と調査結果から見えるものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本事業への関心度について</li><li>・地域振興対策について</li><li>・選考フローについて</li></ul> <p>(2) 地域振興に寄与し、市内の商店会や商工業者の期待に応える事業とすべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・建設工事期間中の食事やお弁当販売等、商店街の積極的利用を</li><li>・工事完成後のまちづくりへの影響も</li></ul>	
<p>2, 障害者施策の拡充について 障がいのある子どもや家庭を支援する施策の現状と課題について問う</p> <p>(1) 児童発達支援・放課後等デイサービス等について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・発達障害のある子どもの増加に伴い施設の拡充が必要</li></ul> <p>(2) 地域生活支援拠点事業・障害者支援施設整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設整備計画の検討状況</li></ul> <p>(3) きょうだい児やひとり親家庭への支援の拡充が必要である</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相談体制や支援体制は十分か</li><li>・現状の把握をするためにヤングケアラー等の実態調査の実施を</li></ul> <p>(4) 視覚障害者や外国人にも有効なユニボイスアプリの導入を進めないか</p>	
<p>3, 伴走型子育て支援の充実を</p> <p>(1) 出産育児に寄り添う産後ケアの専門家「産後ドゥーラ」を周知し活用すべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・イベントの後援や、こども商品券の利用を可能に</li><li>・産後ドゥーラの利用に助成しないか</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

11

令和 年 8月28日  
(西暦2024 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

高木 章成

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 住民投票「否決」を受けて、国民主権・市民参加を問う (1) 「民主的手続き」とは何か (2) 憲法における国民主権・民主主義・地方自治の本旨について (3) 市民参加条例の理念の市政への反映について (4) 義務的住民投票の請求要件を引き下げないか	
2 自転車用ヘルメット等のライフサイクルコストについて (1) 自転車用ヘルメット普及状況、成果と課題について (2) 自転車用ヘルメット等の耐用年数について (3) 自転車用ヘルメット等の廃棄について (4) ヘルメット、ヘッドガード等の普及について一体化して広報を行えないか	
3 来年度予算編成に向けて (1) 今年度予算の執行状況と評価・課題について (2) 査定の過程とあり方について (3) 白井市長の政策意思と予算への反映について	
4 質問・質疑の「答弁調整」の在り方について (1) 一般質問等の「答弁調整」について (2) 議案質疑の「答弁調整」について (3) 答弁拒否はなぜ起きたのか (4) 改めて第2回定例会の一般質問への誠実な答弁を求める	

# 一般質問の通告について

発言順

12

2024年8月28日

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

坂井えり

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<b>1 市立小・中学校の教室を断熱改修しよう</b>	
2022年度市公共施設における二酸化炭素排出の内訳は、およそ67%が電気、電気のおよそ35%が市立小・中学校だった。健康的で快適な学習環境を維持向上するため、エネルギー効率をあげるために教室の断熱改修を実施しよう。	
<b>2 はけと野川をこわす道路はいらない</b>	
現在、市内未施行路線を対象とした優先整備路線の候補の検討及び、優先整備2路線の必要性及び合理性の検証を進めている。白井市長は、“国分寺崖線「はけ」と野川の自然やその豊かな自然環境から生み出される文化は、本市にとってかけがえのない財産であり、宝である”としており、その考えに基づくと3・4・12号線も中止・見直しとなるべきだ。市長の見解を問う。	
<b>3 “投票に行けない”をなくそう</b>	
(1) 投票所での本人確認方法は、個人情報に配慮しよう	
2021年第3回定例会および2022年第1回定例会で、“投票所における本人確認は、氏名の読み上げに代わる確認方法にしよう”と提案した。現在の本人確認方法は？	
(2) 投票所に行くことが困難な方も投票できるように	
選挙のたびに、“投票に行きたいけれど投票所まで行けない”というお声をいただく。不在者投票制度のさらなる周知と、移動期日前投票所等の検討を。	



# 一般質問の通告について

発言順

14

(西暦 2024 )

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

渡辺 大三

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 長年にわたる市の課税ミスが発覚した。取り過ぎた税に関しては、その全額に相当する額を、地方自治法第232条の2に基づく措置で、被害市民に戻すべきだと考える。しかし、小金井市の対応はそうになっていない。市長の見解を問う。</p> <p>先の臨時議会で議題となった固定資産税等の課税ミスについて、被害者救済スキームが必要だと考え、より細かく伺いたいと思います。</p>	
<p>2 「身体」「心」「歯と口腔」の健康づくりを総合的に推進する条例の制定をめざして、検討を始めないか。</p> <p>(1)「歯と口腔」に関しての他議員の質問に対して、前市長の際の答弁では、「小金井歯科医師会の先生方と意見交換を行いながら、課題解決の手法として条例を制定するという結論になるかどうかは別といたしましても、市民の歯と口の健康に関する方策については引き続き共に考えていきたい」となっていました。しかし、現市長になってからの答弁では、「条例の制定につきましては、条例を制定しなくとも、市の計画でございます健康増進計画に基づきまして市民の歯と口腔の健康づくりを推進し、市民の健康増進を図ってまいりたいと考えてございますので、現時点では担当といたしまして、条例を制定する考えを持ち合わせていない」と条例化について後退しているように見受けられます。計画があるから条例はいらない・・・ではなく、条例化を契機により充実した施策展開、財源配分につなげていくことを期待したいと考える所です。市長の政策意思について伺います。</p> <p>(2)都内各自治体の健康増進計画では、各項目の数値目標の設定にバラツキが見られます。小金井市は特に遅れているわけではありませんが、他の自治体で数値目標を設定している項目で、小金井市は設定していないものも見受けられます。全項目において数値目標を設定できないか、伺います。</p>	
<p>3 親子で投票所に行くと・・・当たるかも</p> <p>先進自治体の事例では、小中学生が保護者と一緒に投票所に行った際に、応募箱にグッズの応募用紙を投函し、選挙後の抽選で当選者にグッズがプレゼントされるという取り組みがある。当該選挙の投票率向上のみならず、投票所に足を運ぶ習慣が子どもの頃から身につく効果も考えられる。研究検討してみないか。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

15

令和 6年8月28日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

古畑 俊男

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 優先整備 2 路線整備の検証（必要性と合理性）について</p> <p>(1) 検証手法はどのようなものか。8月20日の建設環境委員会と22日の都市計画審議会の質疑を踏まえ成案に至ったか。</p> <p>(2) 必要性（整備による効果）の意見の整理について</p> <p>(3) 合理性（整備による影響）の意見の整理について 特に都が示している小金井3.4.11号線の3つの構造案による影響の変化についてはどのように整理するか。</p> <p>(4) 総合的判断とはどのようなものになるのか。</p> <p>(5) 小平3.2.8号における東京都と小平市役所の行政連絡会について</p>	



# 一般質問の通告について

発言順

16

令和 6年 8月 28日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

齋藤康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。  
記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 公立小中学校の不登校対策について</p> <p>(ア) 不登校は解消すべきものなのか</p> <p>(イ) 小金井市の不登校生徒数の実態</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 不登校生徒数の全国・東京都との比較</li><li>② 原因別の不登校数の傾向の全国・東京都との比較</li></ul> <p>(ウ) 一般的不登校の原因と小金井市の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 学校や周辺環境が起因とする原因 (いじめ、友人関係、集団生活が苦手、教師と合わない、学業不振)</li><li>② 本人の起因 (無気力、非行・遊び、甘えたがり、家庭環境)</li><li>③ 心身の起因 (精神未熟、発達障害、神経症)</li></ul> <p>(エ) 不登校対策案</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 不登校を是正する対策</li><li>② 不登校を解消しない対策</li></ul> <p>(オ) 不登校対策を実施している事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 施設<ul style="list-style-type: none"><li>1. 教育機関 (もくせい教室)</li><li>2. その他の施設 (子ども家庭支援センター、児童発達支援センター)</li></ul></li><li>② ソフト面<ul style="list-style-type: none"><li>1. スクールカウンセラー</li><li>2. スクールソーシャルワーカー</li><li>3. 市の相談機関</li></ul></li></ul> <p>(カ) 公立学校教育以外の教育</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 私立学校</li><li>② フリースクール</li></ul> <p>(キ) 議員が政治家として理解していなければならない事項とは何か</p>	



令和 6 年 8 月 28 日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

水谷 たかこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 多様な学びのニーズへの支援のために</p> <p>【趣旨】不登校の状態にある子や外国ルーツの子など、支援を必要とする子どもや家庭が増えている。文部科学省が令和5年3月31日に取りまとめた「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)では「チーム学校」で取り組むとされている。本市の現状と今後の課題は。</p> <p>(1) 不登校児童生徒数の推移と、「別室指導教室」や「学校と家庭の連携事業」の現状は</p> <p>(2) 「不登校」と定義づけられる前段階での関わりかたは</p> <p>(3) スクールカウンセラー (SC)、スクールソーシャルワーカー (SSW) の現状は。予約等のICT化はできないか。</p> <p>(4) 不登校支援冊子「ひとりじゃないよ」等の情報提供の在り方は</p> <p>(5) 保護者の不安や就労状況の変化など、現状を把握しているか</p> <p>(6) 居場所づくりのために大学等を含めた関係機関の連携強化を</p> <p>2 コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ</p> <p>【趣旨】令和5年度から市立小中学校14校すべてがコミュニティ・スクールとなった。導入からの成果や今後の取組みについて問う。</p> <p>(1) 小金井市立学校における取り組み事例は</p> <p>(2) 運営協議会における学校経営方針などの議事運営と公開の状況</p> <p>(3) 保護者への周知、研修や支援の体制は</p> <p>(4) 仮にPTA活動が休止した場合の保護者代表の選び方は</p> <p>3 妊娠から子育てまでの伴走支援にもICT活用を</p> <p>【趣旨】民間サービスの活用で市民の不安解消と市の職員の負担軽減を</p> <p>(1) 補助金が活用できるオンライン相談サービスを試行しないか</p> <p>(2) 顔が見える繋がりづくりには、対面での事業充実を</p>	

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山かおる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1. <u>裁判の判決を無視して、さくら保育園とくりのみ保育園を廃園していいのか</u></b></p> <p>8月27日、市立保育園の保護者4人(裁判の原告も含む)から、第二東京弁護士会に人権救済の申立てが行われた。裁判の判決で専決処分は違法、廃園条例は無効、とされたにも関わらず、市は原告のお子さんのみ入所を許可。違法で無効なのは原告にのみ適用されると強弁している。市は控訴せず、判決を重く受けとめるのであれば、元の条例に基づき、今からでも各保育園の募集再開すべきである。このまま来年度の2歳児募集を停止し、無効とされた廃園条例に基づいて段階的縮小を進めていくことは許されない。</p> <p>市立保育園の在り方の検討は、裁判の判決に沿って元の条例に戻した上で行うべきであり、現在の状況では混乱は免れない。</p> <p>人権救済の申立てまで行わざるを得なかった保護者の思いをどのように受けとめているのか。</p> <p>1) 小金井市はこれまで弁護士会などへ人権救済の申立てをされて勧告などを出されたことはあるのか。</p> <p>2) 市立保育園の募集再開を巡る人権救済申立てに対する見解は。</p> <p>3) 新たな法律意見書に対する見解は。</p> <p>4) 裁判の判決を正しく理解して、現在の状況を是正するつもりはあるのか。</p> <p>5) 原告のお子さんのおみの入所という措置は、子どもの人権侵害そのものである。市はこのまま子どもの人権侵害を続けていくつもりか。</p> <p><b>2. <u>公民館は社会教育の理念のもとで運営されているか</u></b></p> <p>現在、有料化の議論が行われ行革の観点で公民館の在り方が大きく変えられようとしている。そもそも社会教育の理念をきちんと理解して運営されているのだろうか。公民館の歴史をどのように踏まえているのか。戦前、戦中の言論統制、監視社会を顧みて、戦後の平和な民主主義社会を住民自治の力で育む場でもある、社会教育の理念のもとの公民館の在り方と存在意義を再認識すべきではないか。</p> <p>1) 公民館の役割と在り方と歴史的意義についての市の見解は。</p> <p>2) 住民自治を育む場として、公民館運営はどのようにあるべきか。</p> <p>3) 憲法で保障されている学習権と受益者負担の考え方についての見解は。</p> <p>4) 「市民がつくる自主講座」の運営について。公民館運営審議会や企画実行委員、講座利用する市民とどのように話し合いながら作り上げていったのか。作り上げていくべきか。</p> <p>5) 市が保有する個人情報の取得、管理の方針と、公民館など社会教育の場での取り扱いについて。</p>	

令和 6年 8月 28日  
(西暦 2024 )

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

河野 麻美

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>1 優先整備路線（小金井3・4・11号線）について</b> 都市計画道路について整備推進の立場で、市の検証と市長の総合的な判断に期待し、市長の方針とその後の調整状況について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 優先整備路線の必要性について</li><li>・ 市長の要望書について</li><li>・ 近隣市との調整状況について</li></ul>	
<p><b>2 薬局の準夜調剤事業も委託出来ないか</b> 本市では市民の生命と健康を守ることを目的に救急患者に対する医療対策として、休日診療、休日調剤及び準夜診療事業を委託実施している。準夜調剤事業も委託することは出来ないか問う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 現状、今後について</li><li>・ 市報こがねいへの掲載について</li></ul>	
<p><b>3 学校プール授業の外部委託について</b> 本市でも災害級の猛暑日や局地的豪雨等により、思うように水泳指導が行えない状況にある。今年度、本町小4～6年生を対象に小金井市総合体育館プールを活用して水泳指導外部委託の試行実施を行ったが、その成果や今後について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 屋外プールの在り方、実施の課題について</li><li>・ 試行実施結果</li><li>・ 今後の方針について</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

21

令和 6 年 8 月 28 日  
(西暦 2024 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

安田けいこ

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1</p> <p><b>子どもとデジタルデバイスの関係性について考えよう</b></p> <p>GIGA スクール構想から 5 年。学校でも家庭でも子どもがデジタルデバイスを使う機会が増えたことへの影響について考えたい</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・タブレット端末はどう活用されているのか</li><li>・デジタル教科書の導入で懸念されること</li></ul>	
<p>2</p> <p><b>気候危機の中で育つ子どもたちの環境について考えよう</b></p> <p>外出することが危険とされるほどの酷暑が子どもたちに与える影響について、将来を見据えた対策を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・酷暑の中での保育や学習への影響について</li><li>・水遊びできる公園やプレーパークを拡充しよう</li></ul>	
<p>3</p> <p><b>図書館で子育て支援を進めよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・図書館の宅配サービスを妊産婦にも広げよう</li><li>・図書館での託児サービスを始めないか</li></ul>	
<p>4</p> <p><b>小金井市主催のゴルフ大会の応募条件に男女の年齢差があるのは何故か</b></p>	

# 一般質問の通告について

発言順

22

令和 年 8 月 28 日  
(西暦 2024)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

森戸よう子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. ココバス東町・中町循環の存続と交通弱者の移動の確保を求める	
(1) この間の経緯と市の基本的な立場を問う	
(2) 存続のための方策について	
(3) 高齢者の免許証返上者への支援について	
(4) 交通弱者の移動手段の確保について	
2. 市内全体の未整備の都市計画道路と優先整備路線2路線の 検証等について市の見解を問う	
(1) 検証手法の改善を求める	
(2) 東京都建設局「土地収容制度適用基準」運用の変更につ いて	
3 公立保育園廃園条例の専決処分は違法であるとの判決結果に対する市 の対応には問題があり、早急に廃園条例を撤回し、正常な保育行政を 求める	
(1) 人権救済の申し立てについて市の見解を問う	
(2) 「確定判決によって違法と判断された条例は、地方公共団 体の執行機関によって、適用されてはならない」という見 解を真摯に受け止め、一日も早く正常な保育行政を回復するこ とを求める	